

各 位

会社名 株式会社西武ホールディングス
 代表者 取締役社長 後藤 高志
 (コード番号：9024 東証プライム市場)
 問合せ先 広報部長 多々良 嘉浩
 (TEL.03-6709-3112)

(開示事項の経過)

グループ組織再編（連結子会社間の会社分割）および沿線観光施設の運営体制変更に関するお知らせ

当社は、2022年12月8日付「グループ組織再編（連結子会社間の会社分割）に関するお知らせ」において公表のとおり、「都市交通・沿線事業の経営改革」の一環として、「組織・運営体制の見直し」を推進しており、2023年4月1日（予定）を効力発生日として、当社連結子会社である西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：喜多村 樹美男、以下「SR」）の不動産事業および沿線観光事業を吸収分割（以下「SRS会社分割」）により、当社連結子会社である株式会社西武リアルティソリューションズ（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：齊藤 朝秀、以下「SRS」）に承継することを決定しておりますが、承継資産が確定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

また、不動産の移管に加えて、2022年12月8日の公表時に検討段階にありました沿線観光事業の「西武グループにおける最善の運営体制」について、2023年4月1日（予定）以降、西武園ゆうえんちの運営主体を当社連結子会社である株式会社西武園ゆうえんち（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：依田 龍也、以下「SEY」）から当社連結子会社である株式会社横浜八景島（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：竹口 豊、以下「HKJ」）へ変更すること、掬水亭の運営主体を SEY から当社連結子会社である株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：小山 正彦、以下「SPW」）へ変更することおよび西武鉄道沿線の観光施設について、西武レクリエーション株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：依田 龍也、以下「REC」）が収支責任を持つ運営体制へ移行することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、その概要をお知らせいたします。なお、RECの運営体制変更にあたり、2023年4月1日（予定）を効力発生日として、SRの沿線観光施設に関する事業を吸収分割（以下「REC会社分割」）により、RECに承継することも、本日開催の取締役会において決議いたしました。

記

1. SRS会社分割における承継資産の概要（開示事項の経過）

2022年12月8日公表のとおり、2023年4月1日（予定）を効力発生日として、SRの「不動産事業および沿線観光事業」に係る資産、債務、その他権利義務をSRSに承継することを予定しておりますが、SRとSRSとの間で、2023年1月26日付でSRS吸収分割に関する合意書を締結し、承継する土地建物の明細を合意しております。

主な承継資産の内訳としては、西武園エリア（山口線を除く、西武園ゆうえんち、ペルーナドーム、西武園ゴルフ場、西武園競輪場、西武ドームテニスコートなどの一帯）の土地建物、「ワーナー ブラザース スタジオツアー 東京ーメイキング・オブ・ハリー・ポッター」開業予定地（旧「としまえん」敷地の一部）などであり、固定資産簿価ベースで約800億円程度を予定しております。

2. 沿線観光事業の「西武グループにおける最善の運営体制」について

(1) 背景

2022年12月8日公表のとおり、「都市交通・沿線事業の経営改革」のうち「組織・運営体制の見直し」の一環として、沿線観光事業の「西武グループにおける最善の運営体制」についての検討を重ねてまいりました。この度、グループが保有するリソース・ノウハウの集約、各事業会社の専門性向上によるさらなる収益性向上を企図して、2023年4月1日（予定）以降、現在SEYが運営している西武園ゆうえんちについて、運営主体をHKJに移管すること、掬水亭の運営主体をSEYからSPWへ変更することおよび現在RECがSRより運営委託を受ける方式にて運営している西武鉄道沿線の観光施設について、RECが収支責任を持つ運営体制へ移行することを決定いたしました。

(2) 西武園ゆうえんち・掬水亭の運営主体変更

西武園ゆうえんちについては、豊富なマーケティングノウハウを持つ株式会社刀との協業により、「心あたままる幸福感に包まれる、新しい西武園ゆうえんち」として、2021年のリニューアルオープン以降、コロナ禍の厳しい環境下においても、新たな顧客層の獲得、近隣以外の地域への商圈拡大により、リニューアルオープン前を上回る来場者数を記録しております。新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれる中、さらなる高付加価値の体験を提供すべく、2023年4月1日（予定）以降、西武園ゆうえんちの運営をHKJへ移管いたします。HKJは横浜・八景島シーパラダイス（神奈川県横浜市）、Xpark（台湾桃園市）などをはじめとした、水族館、遊園地などのレジャー施設の運営を長年にわたり行っております。この度の運営移管を通じたリソース・ノウハウの集約により、オペレーション能力および専門性の向上を目指します。なお、同日以降、SRS会社分割により、西武園ゆうえんちの土地建物の所有はSRSとなり、同社がHKJに運営を委託するスキームとなります。土地建物の新所有者となるSRSおよび新運営主体であるHKJは、協業パートナーである株式会社刀と引き続き密に連携を図り、西武園ゆうえんちのさらなる発展に向けて一丸となって取り組んでまいります。

新運営主体となる株式会社横浜八景島の概要

(1) 商号	株式会社横浜八景島
(2) 事業内容	水族館・遊園地などのレジャー施設の運営・管理
(3) 設立年月日	1990年2月1日
(4) 本店所在地	神奈川県横浜市金沢区八景島
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 竹口 豊
(6) 資本金	820百万円
(7) 大株主および持株比率	株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド 83.9%
(8) 運営施設	横浜・八景島シーパラダイス（神奈川県横浜市） マクセル アクアパーク品川（東京都港区） 仙台うみの杜水族館（宮城県仙台市） 上越市立水族博物館 うみがたり（新潟県上越市）※指定管理者 羽村市動物公園（東京都羽村市）※指定管理者 Xpark（台湾桃園市）※運営：台湾横浜八景島股份有限公司

なお、西武園ゆうえんちに隣接しSEYが現在運営している掬水亭については、2023年4月1日（予定）以降、SRS会社分割により、掬水亭の土地建物の所有はSRSとなり、同社がSPWに運営を委託する運営体制を新たに開始いたします。掬水亭についても、SPWが保有するノウハウを活用し、これまで以上の滞在価値を提供してまいります。

(3) RECによる沿線観光施設の運営体制変更

西武鉄道沿線の観光施設については、現在SRが資産保有、経営管理を行い、RECが運営受託するスキームで運営を行っておりますが、2023年4月1日（予定）以降、資産保有者からRECが貸借し、RECが収支責任をもって運営を行う運営体制へ変更いたします。経営管理と運営の一体化によりスピード感を高め、お客さまにこれまで以上にご満足いただける事業運営を行い、地域との連携をより一層強化することで、西武鉄道の沿線価値向上に貢献してまいります。なお、当該運営体制変更にあたり、同日を効力発生日として、SRの沿線観光施設に関する事業をRECに承継するREC会社分割を行います。

3. REC会社分割

(1) 背景・目的

2. (3)に記載のとおりです。

(2) 会社分割の要旨

① 日程

吸収分割契約承認取締役会決議（REC）	2023年2月1日
吸収分割契約承認取締役会決議（SR）	2023年2月7日
吸収分割契約承認取締役会決議（当社）	2023年2月9日
吸収分割契約の締結	2023年2月9日
吸収分割契約の効力発生日	2023年4月1日（予定）

※REC会社分割は、SRでは、会社法第784条第2項に規定する簡易吸収分割に該当し、RECでは会社法第796条第1項に規定する略式吸収分割に該当するため、両社とも吸収分割契約に関する株主総会の承認を得ることなく行うものです。

② 分割の方式

SRを吸収分割会社とし、RECを吸収分割承継会社とする会社分割（吸収分割）です。

③ 分割に係る割当ての内容

該当する事項はありません。

④ 分割に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当する事項はありません。

⑤ 分割により増減する資本金

SRおよびRECの資本金に変更はありません。

⑥ 承継会社が承継する権利義務

RECは、効力発生日に吸収分割契約に定める範囲において、SRの分割対象事業に係る資産、債務及びその他権利義務を承継いたします。

⑦ 債務履行の見込み

RECが効力発生日以後に負担すべき債務について、履行の見込みに問題はないものと判断しております。

(3) 会社分割の当事会社の概要（2022年3月31日現在）

	分割会社	承継会社
(1) 商号	西武鉄道株式会社	西武レクリエーション株式会社
(2) 事業内容	鉄道事業、沿線観光事業、不動産事業	レジャー施設、スポーツ施設等観光施設の運営
(3) 設立年月日	1912年5月7日	1997年6月3日
(4) 本店所在地	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 喜多村 樹美男	代表取締役社長 依田 龍也
(6) 資本金	56,665百万円	30百万円
(7) 発行済株式数	433,304,640株	600株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 大株主および持株比率	当社99.99%	西武鉄道株式会社100%
(10) 財政状態および経営成績 (2022年3月期)		
総資産	823,542百万円	510百万円
純資産	335,971百万円	△47百万円
売上高	117,623百万円	1,816百万円
営業利益	2,334百万円	11百万円
経常利益	1,673百万円	13百万円
当期純利益	35,010百万円	12百万円
1株当たり当期純利益	77円	20,325円
1株当たり純資産	610円	△79,524円

(4) 分割する事業の内容

以下に掲げる沿線観光施設に係る事業

西武園競輪場

上里レストランプリンス

豊島園 庭の湯

ビッグボックス高田馬場 西武フィットネスクラブ

西武フィットネスクラブ所沢

西武フィットネス emifit 鷺ノ宮

西武フィットネス emifit 東久留米

狭山スキー場

西武ドームテニスコート

ダイドードリンコアイスアリーナ

ビッグボックス東大和（スケートセンターを含む）

狭山そば清瀬店

(5) 分割する事業の経営成績（2022年3月期）

売上高 4,116百万円

(6) 分割する資産および負債の項目並びに金額（2022年3月31日現在）

資産		負債	
項目	帳簿価格	項目	帳簿価格
流動資産	519百万円	流動負債	1,928百万円
固定資産	2,069百万円	固定負債	105百万円
合計	2,588百万円	合計	2,033百万円

（注）なお、実際に分割される資産・負債の金額は、上記金額に効力発生日までの増減を加除した上で確定いたします。

(7) 分割後の状況

SRおよびRECにおいて、REC会社分割による商号、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期の変更はありません。

4. 今後の見通し

本件は当社グループ内の再編であるため、2023年3月期通期連結業績予想への影響は軽微であります。

以上